



第198号 毎月11日は小松島市の人権の日 発行所 小松島市 小松島市教育委員会 小松島市人権教育振興協議会

2025 (令和7)年度 小松島市人権教育振興協議会総会
 「心豊かなひとづくり」を基本目標とし、
 一人ひとりの人権が尊重される明るい小松島をめざそう

6月5日(木)、サウンドハウスホールにおいて、小松島市人権教育振興協議会総会が開催され、本年度の活動について協議が行われました。その概要を報告いたします。

◎基本目標

小松島市人権教育振興協議会は、「日本国憲法」「同和对策審議会答申」「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」「同法第7条の規定に基づく国及び徳島県基本計画」「部落差別の解消の推進に関する法律」「小松島市人権条例」「小松島市人権教育・啓発に関する基本計画」などの趣旨に基づき、相互に基本的人権を尊重する民主的な社会を実現するため、市民総ぐるみで人権教育・啓発に取り組む、人権問題の早期解決をはかります。



その実現のための方策として、本協議会では小松島市第6次総合計画(平成28年度末策定)で掲げられた「心豊かなひとづくり」を基本目標に、「一人ひとりが、人権問題を自らの問題としてとらえ、考え、行動する活動」および「人権尊重の精神や豊かな人権文化の育成」を推進します。

◎努力事項

本協議会は、①家庭教育部会、②社会教育部会、③企業・職域部会の3部会の活動を通して、全市民が人権問題を正しく理解し、人権問題を自らの問題として解決するための研修と実践活動を推進します。これまでの取組により、市民の人権問題についての正しい理解と認識も深まり、基本的人権尊重の精神も高まりつつあります。

しかし国内では、SNSやインターネットなどを利用した個人情報漏洩や誹謗中傷、同和問題等に起因すると思われる差別的な投稿などの人権侵害が後を絶たない現状があります。また、職場でのハラスメントや、顧客や取引先による不当な要求(カスタマーハラスメント)が社会問題化したり、凶悪犯罪が起こるたびに犯罪被害者やその家族の人権が十分に

保障されていない状況が明らかになっており、個人の尊厳や生命が今もなお、おびやかされていることを見逃すことはできません。

そこで、本協議会ではこうした現状を厳しく受けとめ、これまで実践してきた教育・啓発活動において、さらなる広がりや深まりをもたせるとともに、同和問題の解決を人権教育・啓発の重要な柱ととらえ、あらゆる個人人権課題の解決をはかるための様々な取組を推進していきます。そのために、関係機関および関係諸団体との連携協力のもと、次の事項に総力を結集します。

◎具体的な活動項目

1 人権教育・啓発の推進

市民一人ひとりが人権尊重について、「自ら考え」「理解と認識を深め」「自分の生き方の基本として身につけ」「日常生活のなかで「行動化(実践)」していくことが求められています。その



ためには、家庭教育部会、社会教育部会、企業・職域部会をさらに充実し、人権教育・啓発を推進しなければなりません。

2 人権教育・啓発推進者の拡充と研修の強化

人権教育・啓発活動においては、推進者の果たす役割はきわめて大きく、推進者自らが常に研修と実践を積むとともに、自分の考え方や価値観を問いつけ直し、差別解消への強い決意と鋭い人権感覚や高い人権意識を身につけなければなりません。

そのため本協議会は、「人権教育・啓発推進者研修会」、「人権教育・啓発研修大会」など、各種研修会を計画的に実施し、推進者層の拡充と質的向上をはかります。

3 市民の相互の理解と連帯感の育成

部落差別をはじめとするあらゆる差別解消のため、差別意識や予断と偏見を払拭し、真実を知り、互いの人権を尊重し合う社会の実現をめざさなければなりません。

本協議会は、市民相互の理解を深めるために、

差別の現実に深く学び、交流・交換学習会を積極的に推進するとともに、「人権教育学級」や「こまつしま市民人権のつどい」「小松島ハート



フル映画会」などの市民が参加しやすい研修会を計画し、差別解消に向けた連帯感の育成に努めます。

4 差別を受ける側に立った人権教育・啓発の推進

人権問題解決のためには、差別を受ける側に立ち、現状と課題をしっかりとらえ、ともに差別と闘う意欲と実践力を養い、それぞれの立場で自らの人権を確立していく営みが求められます。隣保館事業や教育集会所活動、サークル活動、人権教育推進事業などの交流学习をはじめとする諸活動を充実し、自らが人権問題解決に向けての発信者となるような人権教育・啓発を推進します。

5 広報活動、日常活動の強化

実践的な啓発資料の作成に努め、啓発・広報活動を推進し、部落差別をはじめあらゆる差別の早期解決をはかります。市民が偏見・差別・人権侵害などの現実を見つめ、再点検するために、毎月11日の小松島市「人権の日」の活動や、「広報こまつしま」の人権啓発コーナー・機関紙「松明」などの充実を努め、市民のさらなる人権意識を高めます。また、関係機関、諸団体との連携協調のもとに、広報活動、日常活動を展開し、「心豊かなひとづくり」をめざした人権尊重のまちづくりを努めます。

◎主な事業予定

月	日	事業名
5	16	市人権教育振興協議会役員会①
6	5	市人権教育振興協議会総会
7	3	公民館長・推進員長研修会
7	3	人権教育・啓発推進者研修会
7	5	機関紙「松明」第198号発行
7	31	小松島ハートフル映画会
8	20	人権尊重標語・ポスター審査会
8	28	人権教育学級①
9	29	人権教育学級②
10	5	機関紙「松明」第199号発行
10	23	人権問題講演会
11	5	市人権尊重作文・作品審査会
11	13	人権教育学級③
11	15	現地視察研修会
11	26	人権教育・啓発研修大会
12	6	原稿検討会・運営委員会
12	6	こまつしま市民人権のつどい
12	6	市人権尊重標語・ポスター展
1	5	機関紙「松明」第200号発行
1	9	市人権教育振興協議会役員会②
2	4	市人権教育・啓発研修大会
3		機関紙「松明」第201号発行 (4月5日発行)

※「広報こまつしま」の「人権啓発コーナー」に毎月人権啓発記事を掲載

【お知らせ】
機関紙「松明」は、前号までA3サイズ二つ折りで発行でしたが、本号よりA4サイズで両面カラーでの発行となりました。小松島市を中心に人権に関わる情報を掲載して行く予定です。

【行事案内】

小松島ハートフル映画会

☆日時：令和7年7月31日(木)
10時～12時

☆場所：サウンドハウスホール

☆入場料：無料

☆上映作品：「かがみの孤城」

「かがみの孤城」は、2018年に本屋大賞を受賞した、辻村深月さんのベストセラー小説「かがみの孤城」を劇場アニメ化した作品です。現代社会において深刻化している不登校の問題を描いています。不登校や生きづらさを感じている子どもたちだけでなく、大人たちにも共感と感動を与える作品です。

